

サークル紹介

神戸曙句会

*公民館でご活躍のサークルを紹介します

神戸曙句会は毎月1回句会を開いています。

全国にはたくさんのお俳句結社がありますが、その中の1つ「蟻乃塔」という結社に所属し、俳誌への投句を行っています。五・七・五という限られた文字の中に、季語（季節をあらわすことば）を入れて作る短い詩が俳句です。例えば今の時節ですと、寝冷え・夏風邪・花火ひまわり・熱帯夜・西日・冷房 等々、季語はいくらでもあります。ごく普通の日常生活に素材はあふれています。

今まで何気なく見ていた自然や行事なども句を作ることによって、別の世界が広がっていくのではないのでしょうか。

現在は9名ですが、和気藹藹とした中で折々のニュースや政治問題まで話題はつきません。

句を作ることにより、脳の司令塔である「前頭前野」が刺激され強く活性化されることが実験で確かめられ、脳トレよりも脳の血流量が増したという内容の記事が、以前朝日新聞に記載されました。知識とか経験は全く関係ありませんので神戸公民館へ開催日を確認のうえ、一度のぞいてみて下さい。（文責 中西真紀子）



講師	山本 松柏さん
練習日	毎月1回（曜日不定） 13:00～16:00
代表者	中西真紀子さん
会員紹介 （9名） ※敬称省略	中尾 あや・稲濱田美子 中森 由江・滝川 瑠星 藤井加代子・長谷川梅香 森井 麗子・福永 せつ 中西真紀子

作品紹介

- | | | |
|---|------------------------|----------|
| ●煮凝り ^{にこご} を舌に遊ばせ 一人 ^げ の餉 | 山本 ^{しょうぼく} 松柏 | ※季語 煮凝り |
| ●ゆずり葉 ^{たぐ} や次代 ^こ を託す孫 ^{はたち} は二十 | 滝川 ^{ようせい} 瑠星 | ※季語 ゆずり葉 |
| ●生き延びて万感胸 ^く に年酒酌む | 中尾あや | ※季語 年酒 |
| ●初曆 ^{はつごよみ} 新たな一步 始まりぬ | 中森由江 | ※季語 初曆 |
| ●初写真 ^{はつじゃしん} 健やか込めて 四世帯 | 稲濱たみ子 | ※季語 初写真 |
| ●初景色 ^{はつげしきさいか} 災禍なき地にしみじみと | 長谷川 ^{ばい か} 梅香 | ※季語 初景色 |
| ●七草 ^{やわ} を終えて和らぎ野へ一步 | 森井麗子 | ※季語 七草 |
| ●健やかを願いて迎う喜寿の春 | 福永せつ | |
| ●煮凝り ^{にこご} を小匙 ^{こさじ} で掬い臥す母 ^{すく} に | 中西紀歩 | ※季語 煮凝り |